

SQLC-110L
通信仕様書
(CC-Link 通信プロトコル)
[相表示 U-V-W-N]

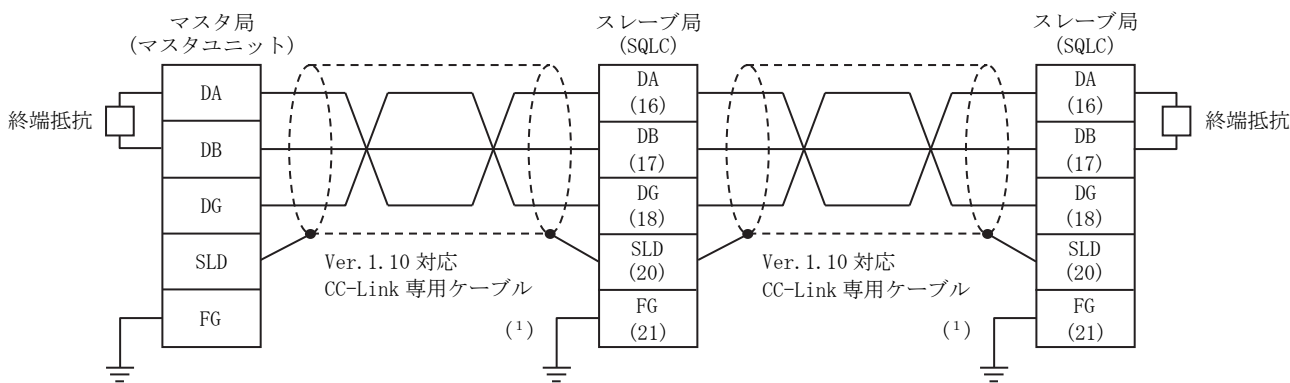
目 次

1. 通信仕様	2
2. 通信配線	2
3. 通信概要	
3.1 送受信概要	3
3.2 イニシャル通信	3
3.3 通常通信	4
3.4 エラー通信	4
4. リモート入出力 (RX, RY)	
4.1 リモート入力 (RX)	5
4.2 リモート出力 (RY)	6
5. リモートレジスタ (RW _r , RW _w)	7
5.1 リモートレジスタ (RW _r) 詳細	7
5.2 リモートレジスタ (RW _w) 詳細	10
付表 1～5	

1. 通信仕様

項目	仕様
プロトコル	CC-Link Ver. 1.10
伝送方式	ブロードキャストポーリング方式
同期方式	フレーム同期方式
伝送速度	10Mbps / 5Mbps / 2.5Mbps / 625kbps / 156kbps
符号化方式	NRZI
伝送路形式	バス形式 (EIA RS485 準拠)
伝送フォーマット	HDLC 準拠
誤り制御方式	CRC ($X^{16}+X^{12}+X^5+1$)
占有局数	リモートデバイス局 1局占有
リモート入力・出力	RX : 32点, RY : 32点
リモートレジスタ	RWr : 4点, RWw : 4点
最大伝送距離	100m(10Mbps) / 160m(5Mbps) / 400m(2.5Mbps) / 900m(625kbps) / 1200m(156kbps)
接続台数	① $(1 \times a) + (2 \times b) + (3 \times c) + (4 \times d) \leq 64$ 局 a : 1局占有台数, b : 2局占有台数, c : 3局占有台数, d : 4局占有台数 ② $16 \times A + 54 \times B + 88 \times C \leq 2304$ A : リモート I/O 局台数 最大 64 台 B : リモートデバイス局台数 最大 42 台 C : ローカル局, インテリジェントデバイス局台数 最大 26 台
局番設定	1~64
接続ケーブル	CC-Link 専用ケーブル (シールド付 3 芯ツイストペアケーブル)
終端抵抗	端子取付 (CC-Link 専用ケーブル指定の抵抗値を選定)

2. 通信配線

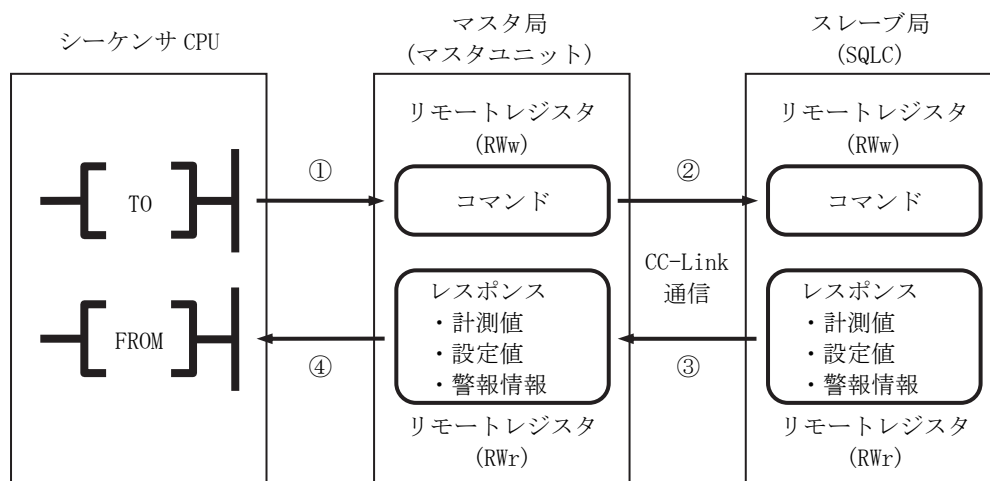


注(1) FG は機能接地に相当しますので、専用接地又は共用接地を推奨します。

- (1) 接続ケーブルは CC-Link 専用のケーブル(シールド付 3 芯ツイストペアケーブル)を使用してください。また、異なる種類のケーブルの混在はできません。混在した場合、正常なデータ通信は保証されません。ケーブルについては、「CC-Link 協会 パートナー製品情報 ケーブルコネクタ」をご参照ください。
- (2) CC-Link システムの両端のユニットには必ず終端抵抗を接続してください。終端抵抗は DA-DB 間に接続してください。また、使用するケーブルにより接続する終端抵抗が異なります。CC-Link 専用ケーブル : 110Ω (1/2W 品)
- (3) CC-Link 専用のケーブルのシールド線は、各ユニットの SLD に接続し、FG を D 種接地 (第三種接地) してください。(SLD と FG はユニット内部で接続されています。)

3. 通信概要

3.1 送受信概要



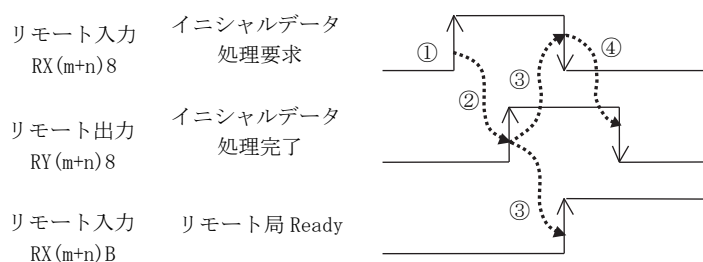
- ① マスタ局のリモートレジスタ (RWw) にコマンドを書き込みます。
- ② リンクスキャンにより、マスタ局からスレーブ局のリモートレジスタ (RWw) にコマンドが送信されます。
- ③ リンクスキャンにより、スレーブ局よりマスタ局のリモートレジスタ (RWr) にレスポンスが送信されます。
- ④ マスタ局のリモートレジスタ (RWr) からレスポンスデータを読み込みます。

リモート入力/出力、リモートレジスタのアドレス表

局番	リモート入力		リモート出力		リモートレジスタ			
					スレーブ局 → マスタ局		マスタ局 → スレーブ局	
1	RX00	0E0H	RY00	160H	RWr00	2E0H	RWw00	1E0H
2	RX02	0E2H	RY02	162H	RWr04	2E4H	RWw04	1E4H
3	RX04	0E4H	RY04	164H	RWr08	2E8H	RWw08	1E8H
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
64	RX7E	15EH	RY7E	1DEH	RWrFC	3DCH	RWwFC	2DCH

3.2 イニシャル通信

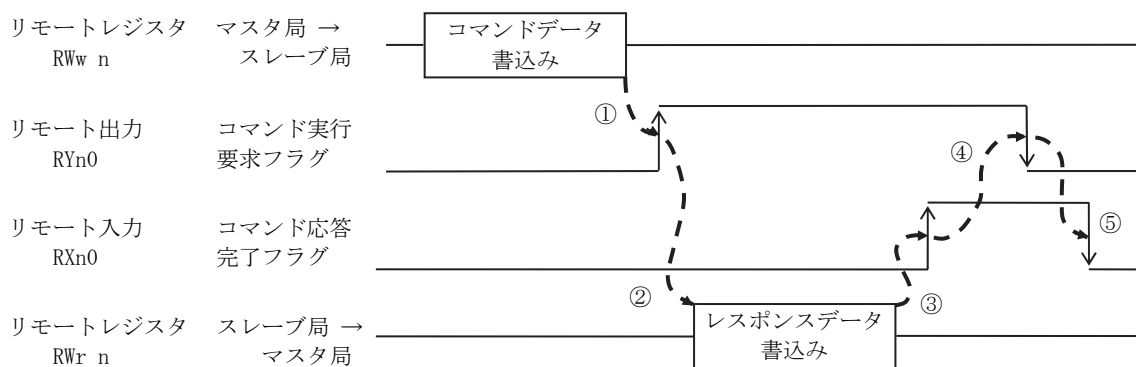
- (1) イニシャルデータ処理要求/処理完了
スレーブ局 (SQLC) の補助電源投入後又は通信設定変更後に行います。



- ① スレーブ局の補助電源 OFF → ON、設定変更後にイニシャルデータ処理要求フラグが 0 → 1 となります。
- ② イニシャルデータ処理要求フラグが 0 → 1 後、イニシャルデータ処理完了フラグを 0 → 1 としてください。
- ③ イニシャルデータ処理完了フラグが 0 → 1 後、イニシャルデータ処理要求フラグが 1 → 0、リモート局 Ready が 0 → 1 となります。
- ④ イニシャルデータ処理要求フラグが 1 → 0 後、イニシャル処理完了フラグを 1 → 0 としてください。

<注意> リンク確立後に設定変更したなどにより途中で通信停止した場合、電源リセット又は機器のリセット (設定 No. 233C) を実施してください。機器のリセット方法については、取扱説明書をご参照ください。

3.3 通常通信



- ① モニタもしくは設定したい項目に割り振られているコマンド及びデータをリモートレジスタ RW_w へ書込み完了後、コマンド実行要求フラグを 0 → 1 にしてください。
- ② 送信したコマンドに対応するレスポンスデータを書込み後、コマンド応答完了フラグが 0 → 1 になります。
- ③ コマンド応答完了フラグが 0 → 1 後、リモートレジスタ RW_r からレスポンスデータを読み出してください。
- ④ レスポンスデータを読み出し完了後、コマンド実行要求フラグを 1 → 0 することによりコマンド実行要求を解除してください。
- ⑤ コマンド実行要求フラグが 1 → 0 により、コマンド応答完了フラグが 1 → 0 になります。

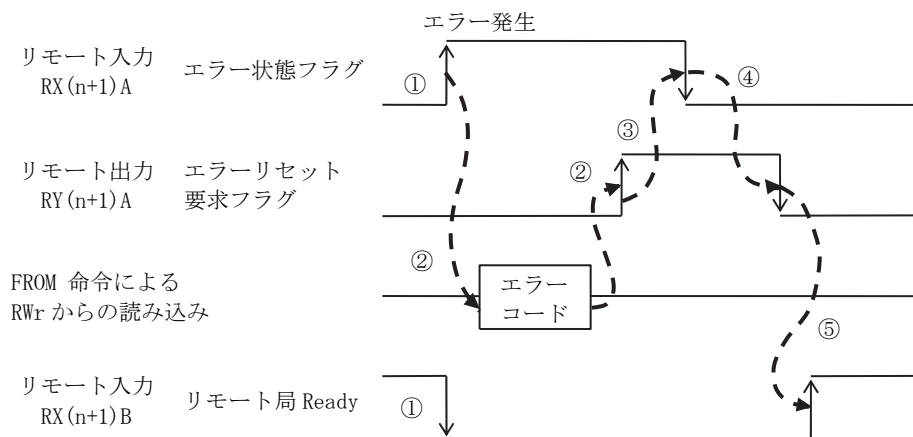
連続してコマンドを送信する場合は、上記①～⑤を繰り返してください。

リモート Ready が ON の状態でのみ、コマンド送受信が可能です。

<注意> コマンド書込み後、コマンド実行要求フラグを ON にしなくても、レスポンスデータが書き込まれます。ただし、この場合、コマンド応答完了フラグは ON しません。

3.4 エラー通信 (エラー状態/リセット要求)

スレーブ局がエラー発生を通知/解除する場合には行います。



- ① スレーブ局にてエラー発生した場合、エラー状態フラグが 0 → 1、リモート局 Ready が 1 → 0 となります。
- ② エラー状態フラグが 0 → 1 となった場合、通信エラー状態を読み出し・エラー項目の対策を実施してください。エラーコードについては「5.1.1 通信エラー状態」を参照してください。その後、スレーブ局と通信再開時にエラーリセット要求フラグを 0 → 1 としてください。
- ③ エラーリセット要求フラグが 0 → 1 後、エラー状態フラグが 1 → 0 となります。
- ④ エラー状態フラグが 1 → 0 後、エラーリセット要求フラグを 1 → 0 としてください。
- ⑤ エラーリセット要求フラグが 1 → 0 後、リモート局 Ready が 0 → 1 となります。

4. リモート入出力 (RX, RY)

マスター局とスレーブ局 (SQLC) 間でビット単位のデータを通信する際に使用します。

4.1 リモート入力 (RX) : スレーブ局 (SQLC) → マスター局

デバイス No.	アドレス (²)	信号名称	内容		備考
			0	1	
RXn0	OE0H	コマンド応答完了フラグ	応答完了解除	応答完了	
RXn1		未使用	—	—	
RXn2		未使用	—	—	
RXn3		未使用	—	—	
RXn4		未使用	—	—	
RXn5		未使用	—	—	
RXn6		未使用	—	—	
RXn7		未使用	—	—	
RXn8		未使用	—	—	
RXn9		未使用	—	—	
RXnA		未使用	—	—	
RXnB		未使用	—	—	
RXnC		未使用	—	—	
RXnD		未使用	—	—	
RXnE		未使用	—	—	
RXnF		未使用	—	—	
RX(n+1)0	OE1H	使用不可	—	—	システム 領域
RX(n+1)1		使用不可	—	—	
RX(n+1)2		使用不可	—	—	
RX(n+1)3		使用不可	—	—	
RX(n+1)4		使用不可	—	—	
RX(n+1)5		使用不可	—	—	
RX(n+1)6		使用不可	—	—	
RX(n+1)7		使用不可	—	—	
RX(n+1)8		イニシャルデータ 処理要求フラグ	・電源 OFF ・リモート Ready ON ・エラー状態フラグ ON	・電源 OFF→ON ・リセット発生時	
RX(n+1)9		使用不可	—	—	
RX(n+1)A		エラー状態フラグ	エラー発生なし	エラー発生あり	
RX(n+1)B		リモート局 Ready	コマンド送信不可	通常交信時 (コマンド送信可能)	
RX(n+1)C		使用不可	—	—	
RX(n+1)D		使用不可	—	—	
RX(n+1)E		使用不可	—	—	
RX(n+1)F		使用不可	—	—	

n : 局番設定により決まる値

注(2) 局番 1 の場合 (局番 1 以外の場合は、3 ページのリモート入力/出力、リモートレジスタのアドレス表を参照)

4.2 リモート出力 (RY) : マスタ局 → スレーブ局 (SQLC)

デバイス No.	アドレス (³)	信号名称	内容		備考
			0	1	
RYn0	160H	コマンド実行要求フラグ	実行要求解除	実行要求	
RYn1		未使用	—	—	
RYn2		未使用	—	—	
RYn3		未使用	—	—	
RYn4		未使用	—	—	
RYn5		未使用	—	—	
RYn6		未使用	—	—	
RYn7		未使用	—	—	
RYn8		未使用	—	—	
RYn9		未使用	—	—	
RYnA		未使用	—	—	
RYnB		未使用	—	—	
RYnC		未使用	—	—	
RYnD		未使用	—	—	
RYnE		未使用	—	—	
RYnF		未使用	—	—	
RY(n+1)0	161H	使用不可	—	—	システム 領域
RY(n+1)1		使用不可	—	—	
RY(n+1)2		使用不可	—	—	
RY(n+1)3		使用不可	—	—	
RY(n+1)4		使用不可	—	—	
RY(n+1)5		使用不可	—	—	
RY(n+1)6		使用不可	—	—	
RY(n+1)7		使用不可	—	—	
RY(n+1)8		イニシャルデータ 処理完了フラグ	リモート Ready 要求の 解除時	リモート Ready 要求時	
RY(n+1)9		使用不可	—	—	
RY(n+1)A		エラーリセット要求フラグ	リセット要求なし	リセット要求あり	
RY(n+1)B		リザーブ	—	—	
RY(n+1)C		使用不可	—	—	
RY(n+1)D		使用不可	—	—	
RY(n+1)E		使用不可	—	—	
RY(n+1)F		使用不可	—	—	

n : 局番設定により決まる値

注⁽³⁾ 局番 1 の場合 (局番 1 以外の場合は、3 ページのリモート入力/出力、リモートレジスタのアドレス表を参照)

5. リモートレジスタ (RW_r, RW_w)

リモートレジスタ (RW _r) : スレーブ局 → マスタ局				リモートレジスタ (RW _w) : マスタ局 → スレーブ局			
アドレス (4)		内容		アドレス (4)		内容	
		通常通信時	エラー発生時				
RW _r n	2E0H	レスポンスデータ (5 バイト)	エラーコード	RW _w n	1E0H	コマンド (4 バイト)	
			00H				
RW _r n+1	2E1H		00H	RW _w n+1	1E1H		
			00H				
RW _r n+2	2E2H		未使用	RW _w n+2	1E2H	未使用	
			未使用			未使用	
RW _r n+3	2E3H		未使用	RW _w n+3	1E3H	未使用	
			未使用			未使用	

n : 局番設定により決まる値

注(4) 局番 1 の場合 (局番 1 以外の場合は、3 ページのリモート入力/出力、リモートレジスタのアドレス表を参照)

5.1 リモートレジスタ (RW_r) 詳細

5.1.1 エラーコード (各ビットは、エラー発生時 : 1, エラー無 : 0)

RW _r n(L)	エラー内容	RW _r n(L)	エラー内容
ビット 0	未定義コマンド	ビット 4	0
ビット 1	プロトコルバージョン違い	ビット 5	0
ビット 2	指定要素範囲外 (計測値モニタ)	ビット 6	0
ビット 3	設定範囲外 (設定変更)	ビット 7	0

5.1.2 レスポンスデータ

アドレス	信号名称		内容		備考
	通常通信時	エラー発生時	通常通信時	エラー発生時	
RW _r n (L)	・ 計測値 (一次) データ ・ 設定値データ ・ 警報状態 4 バイト	エラーコード	RW _r n(L) : ビット 0 (下位) ~ RW _r n+1(H) : ビット 7 (上位)	ビット 0~7	詳細は 次ページ 参照
RW _r n (H)		00H		00H	
RW _r n+1 (L)		00H		00H	
RW _r n+1 (H)		00H		00H	
RW _r n+2 (L)	倍率データ	00H	10 の整数ベキ倍の指数部	00H	
RW _r n+2 (H)	未使用		—		
RW _r n+3 (L)	未使用		—		
RW _r n+3 (H)	未使用		—		

(1) 警報状態 (各ビットは、検出あり : 1, 検出なし : 0)

上位バイト RW_r n+2(L)~RW_r n+1(L)は 0 を送信します。

RW _r n(L)	内容	RW _r n(H)	内容
ビット 0	電圧上下限警報	ビット 0	高調波電圧 5 次換算含有率 上限警報
ビット 1	需要電流上限警報	ビット 1	高調波電圧 n 次含有率 上限警報 (5)
ビット 2	需要電力上限警報	ビット 2	警報出力 1 状態監視
ビット 3	漏電電流上限警報	ビット 3	警報出力 2 状態監視
ビット 4	高調波電流 歪率上限警報	ビット 4	0
ビット 5	高調波電流 5 次換算含有率 上限警報	ビット 5	0
ビット 6	高調波電流 n 次含有率 上限警報 (4)	ビット 6	0
ビット 7	高調波電圧 歪率上限警報	ビット 7	0

注(5) n 次含有率の上限警報は検出要素 (n=3, 4, 5, 7, 9, 11, 13, 15) による。

(2) 倍率データ

10の整数べき倍の指数部を送信 (10ⁿ n=-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4)

通信データ	倍率	通信データ	倍率
-4 (FCH)	×0.0001 (10 ⁻⁴)	0 (00H)	×1 (10 ⁰)
-3 (FDH)	×0.001 (10 ⁻³)	1 (01H)	×10 (10 ¹)
-2 (FEH)	×0.01 (10 ⁻²)	2 (02H)	×100 (10 ²)
-1 (FFH)	×0.1 (10 ⁻¹)	3 (03H)	×1000 (10 ³)
		4 (04H)	×10000 (10 ⁴)

(3) 計測値データ

通信データは上位側にて、計測値データと倍率データによりスケールリングする処理が必要となります。

一次スケールリングデータ = 計測値データ×倍率 となります。

(例) 電流 100.0A の場合、1000 (計測値データ) ×0.1 (倍率 : 10⁻¹)

計測要素	内容	通信データ例
電圧, 最小電圧, 最大電圧	送信データの単位はV 桁数, 倍率はレンジ設定による。(付表1参照) また、同じVT比で2レンジある場合は桁数の多いレンジに合わせてデータスケールリングされます。 (例) 300Vレンジは300.0Vと同じスケールリング	6600Vレンジ 6600×1=6600V
電流, 最小電流, 最大電流, (最大需要, 最小需要, 需要)	送信データの単位はA 桁数, 倍率はレンジ設定による。(付表2参照) また、同じCT比で2レンジある場合は桁数の多いレンジに合わせてデータスケールリングされます。 (例) 100Aレンジは100.0Aと同じスケールリング	100.0Aレンジ 1000×0.1=100.0A
電力, 最小電力, 最大電力 (最大需要, 最小需要, 需要)	送信データの単位はkW 桁数, 倍率は電圧・電流レンジによる。(付表3~5参照)	6600V, 100.0Aレンジ 1200×1=1200kW
無効電力, 最小無効電力, 最大無効電力	送信データの単位はkvar 桁数, 倍率は電圧・電流レンジによる。(付表3~5参照) 極性は、+ : LAG, - : LEAD となります。	6600V, 100.0Aレンジ 1200×1=LAG1200kvar -1200×1=LEAD1200kvar
皮相電力, 最小皮相電力, 最大皮相電力	送信データの単位はkVA 桁数, 倍率は電圧・電流レンジによる。(付表3~5参照)	6600V, 100.0Aレンジ 1200×1=1200kVA
力率, 最小力率, 最大力率	送信データの単位は%, 倍率は×0.1 (固定) 極性は、+ : LAG, - : LEAD となります。 LEAD 0 のとき、送信データは 80000000H となります。	1000×0.1=100.0% =LAG1.000
周波数, 最小周波数, 最大周波数	送信データの単位はHz, 倍率は×0.01 (固定)	5000×0.01=50.00Hz
電力量(受電/送電)	送信データの単位はkWh(6桁) 倍率は電圧・電流レンジによる。(付表3~5参照)	123456×100 =12345600kWh
無効電力量 (受電/送電, LAG/LEAD)	送信データの単位はkvarh(6桁) 倍率は電圧・電流レンジによる。(付表3~5参照)	123456×100 =12345600kvarh
漏電電流, 最大漏電電流	送信データの単位はA, 倍率は×0.0001 (固定)	8000×0.0001=0.8000A
歪率(最大相・最大線間) 高調波n次含有率 高調波5次換算含有率 (最大相・最大線間)	送信データの単位は%, 倍率は×0.1 (固定)	1000×0.1=100.0%
高調波実効値(基本波, n次) 高調波5次換算実効値 (最大相・最大線間)	送信データの単位はV及びA 桁数, 倍率はレンジ設定による。(付表1,2参照) (一般計測の電圧, 電流と同じスケールリング)	9000Vレンジ 6600×1=6600V 100.0Aレンジ 1000×0.1=100.0A

(4) 設定値データ

項目	内容
電圧レンジ, 電流レンジ	計測値データ (定格値) と同じスケールで送信 (付表 1, 2 参照)
上・下限警報設定	計測値データと同じスケールで送信 (付表 1, 2 参照), 上・下限設定値 OFF 時は 0H を送信
警報出力要素	0 : OFF 1 : 需要電流 2 : 需要電力 3 : 漏電電流 4 : 高調波電流歪率 5 : 高調波電流 5 次換算含有率 6 : 高調波電流 n 次含有率 7 : 高調波電圧歪率 8 : 高調波電圧 5 次換算含有率 9 : 高調波電圧 n 次含有率 10 : 電圧
需要時限	0 秒~30 分 / 0~1800 (秒)
相線	1 : 3 φ 3W (2VT・2CT) 2 : 1 φ 3W (U-W-N) 3 : 1 φ 3W (U-V-N) 4 : 1 φ 3W (V-W-N) 5 : 1 φ 2W 6 : 3 φ 4W 7 : 3 φ 3W (2VT・3CT)
n 次含有率次数	次数データを送信 (3, 4, 5, 7, 9, 11, 13, 15)

5.2 リモートレジスタ (RWw) 詳細

5.2.1 コマンドデータ

アドレス	信号名称	内容				
		計測値モニタ	警報モニタ	設定値モニタ	設定変更	リセット
RWw n(L)		(1), (2), (3)	00H	(4)	(6), (7)	(8)
RWw n(H)	要素 (⁶)	00H: 現在値 01H: 最大値 02H: 最小値	00H	00H	(5)	00H
RWw n+1(L)	計測モード	00H: 一般計測 01H: 高調波電圧 02H: 高調波電流	00H	10H: 設定値	10H: 設定値	00H
RWw n+1(H)	コマンド	01H: 計測値 モニタ	02H: 警報状態 モニタ	10H: 設定値 モニタ	11H: 設定値 変更	20H: 最大値・最小値リセット 21H: 最大・最小一括リセット 31H: 積算値一括リセット
RWw n+2(L)	未使用	-				
RWw n+2(H)						
RWw n+3(L)	未使用	-				
RWw n+3(H)						

注(⁶) 要素の(1)~(8)は下表及び別紙参照

(1) 要素 (計測モード: 一般計測)

RWw n(L)		一般計測要素						
10進	16進	3φ3W(2VT・2CT)	3φ3W(2VT・3CT)	1φ3W(U-W-N)	1φ3W(V-W-N)	1φ3W(U-V-N)	1φ2W	3φ4W
1	01	-	-	-	-	-	-	電圧(UN)
2	02	-	-	-	-	-	-	電圧(VN)
3	03	-	-	-	-	-	-	電圧(WN)
4	04	電圧(UV)	電圧(UV)	電圧(UN)	電圧(VN)	電圧(UN)	電圧	電圧(UV)
5	05	電圧(VW)	電圧(VW)	電圧(WN)	電圧(WN)	電圧(VN)	-	電圧(VW)
6	06	電圧(WU)	電圧(WU)	電圧(UW)	電圧(VW)	電圧(UV)	-	電圧(WU)
7	07	電流(U)	電流(U)	電流(U)	電流(V)	電流(U)	電流	電流(U)
8	08	電流(V)	電流(V)	電流(N)	電流(N)	電流(N)	-	電流(V)
9	09	電流(W)	電流(W)	電流(W)	電流(W)	電流(V)	-	電流(W)
10	0A	-	-	-	-	-	-	電流(N)
11	0B	需要電流(U)	需要電流(U)	需要電流(U)	需要電流(V)	需要電流(U)	需要電流	需要電流(U)
12	0C	需要電流(V)	需要電流(V)	需要電流(N)	需要電流(N)	需要電流(N)	-	需要電流(V)
13	0D	需要電流(W)	需要電流(W)	需要電流(W)	需要電流(W)	需要電流(V)	-	需要電流(W)
14	0E	-	-	-	-	-	-	需要電流(N)
15	0F	電力						
16	10	需要電力						
17	11	無効電力						
18	12	力率						
19	13	周波数						
20	14	漏電電流						
21	15	-						
22	16	電力量(受電)						
23	17	電力量(送電)						
24	18	無効電力量(受電, LAG)						
25	19	無効電力量(受電, LEAD)						
26	1A	無効電力量(送電, LAG)						
27	1B	無効電力量(送電, LEAD)						

<注意> 上記要素の ” - “ のデータ及び、漏電計測オプション無し時の漏電電流(14H)を要求すると、エラー処理されエラーコードが送信されます。4 ページ 3.4 エラー通信 及び 7 ページ 5.1.1 エラーコード参照

(2) 要素 (計測モード: 高調波電流)

RWw n(L)		高調波電流要素						
10進	16進	3φ3W(2VT・2CT)	3φ3W(2VT・3CT)	1φ3W(U-W-N)	1φ3W(V-W-N)	1φ3W(U-V-N)	1φ2W	3φ4W
1	01	歪率(U)	歪率(U)	歪率(U)	歪率(V)	歪率(U)	歪率	歪率(U)
2	02	—	歪率(V)	—	—	—	—	歪率(V)
3	03	歪率(W)	歪率(W)	歪率(W)	歪率(W)	歪率(V)	—	歪率(W)
4	04	5次換算含有率(U)	5次換算含有率(U)	5次換算含有率(U)	5次換算含有率(V)	5次換算含有率(U)	5次換算含有率	5次換算含有率(U)
5	05	—	5次換算含有率(V)	—	—	—	—	5次換算含有率(V)
6	06	5次換算含有率(W)	5次換算含有率(W)	5次換算含有率(W)	5次換算含有率(W)	5次換算含有率(V)	—	5次換算含有率(W)
7	07	3次含有率(U)	3次含有率(U)	3次含有率(U)	3次含有率(V)	3次含有率(U)	3次含有率	3次含有率(U)
8	08	—	3次含有率(V)	—	—	—	—	3次含有率(V)
9	09	3次含有率(W)	3次含有率(W)	3次含有率(W)	3次含有率(W)	3次含有率(V)	—	3次含有率(W)
10	0A	4次含有率(U)	4次含有率(U)	4次含有率(U)	4次含有率(V)	4次含有率(U)	4次含有率	4次含有率(U)
11	0B	—	4次含有率(V)	—	—	—	—	4次含有率(V)
12	0C	4次含有率(W)	4次含有率(W)	4次含有率(W)	4次含有率(W)	4次含有率(V)	—	4次含有率(W)
13	0D	5次含有率(U)	5次含有率(U)	5次含有率(U)	5次含有率(V)	5次含有率(U)	5次含有率	5次含有率(U)
14	0E	—	5次含有率(V)	—	—	—	—	5次含有率(V)
15	0F	5次含有率(W)	5次含有率(W)	5次含有率(W)	5次含有率(W)	5次含有率(V)	—	5次含有率(W)
16	10	7次含有率(U)	7次含有率(U)	7次含有率(U)	7次含有率(V)	7次含有率(U)	7次含有率	7次含有率(U)
17	11	—	7次含有率(V)	—	—	—	—	7次含有率(V)
18	12	7次含有率(W)	7次含有率(W)	7次含有率(W)	7次含有率(W)	7次含有率(V)	—	7次含有率(W)
19	13	9次含有率(U)	9次含有率(U)	9次含有率(U)	9次含有率(V)	9次含有率(U)	9次含有率	9次含有率(U)
20	14	—	9次含有率(V)	—	—	—	—	9次含有率(V)
21	15	9次含有率(W)	9次含有率(W)	9次含有率(W)	9次含有率(W)	9次含有率(V)	—	9次含有率(W)
22	16	11次含有率(U)	11次含有率(U)	11次含有率(U)	11次含有率(V)	11次含有率(U)	11次含有率	11次含有率(U)
23	17	—	11次含有率(V)	—	—	—	—	11次含有率(V)
24	18	11次含有率(W)	11次含有率(W)	11次含有率(W)	11次含有率(W)	11次含有率(V)	—	11次含有率(W)
25	19	13次含有率(U)	13次含有率(U)	13次含有率(U)	13次含有率(V)	13次含有率(U)	13次含有率	13次含有率(U)
26	1A	—	13次含有率(V)	—	—	—	—	13次含有率(V)
27	1B	13次含有率(W)	13次含有率(W)	13次含有率(W)	13次含有率(W)	13次含有率(V)	—	13次含有率(W)
28	1C	15次含有率(U)	15次含有率(U)	15次含有率(U)	15次含有率(V)	15次含有率(U)	15次含有率	15次含有率(U)
29	1D	—	15次含有率(V)	—	—	—	—	15次含有率(V)
30	1E	15次含有率(W)	15次含有率(W)	15次含有率(W)	15次含有率(W)	15次含有率(V)	—	15次含有率(W)
31	1F	5次換算実効値(U)	5次換算実効値(U)	5次換算実効値(U)	5次換算実効値(V)	5次換算実効値(U)	5次換算実効値	5次換算実効値(U)
32	20	—	5次換算実効値(V)	—	—	—	—	5次換算実効値(V)
33	21	5次換算実効値(W)	5次換算実効値(W)	5次換算実効値(W)	5次換算実効値(W)	5次換算実効値(V)	—	5次換算実効値(W)
34	22	基本波実効値(U)	基本波実効値(U)	基本波実効値(U)	基本波実効値(V)	基本波実効値(U)	基本波実効値	基本波実効値(U)
35	23	—	基本波実効値(V)	—	—	—	—	基本波実効値(V)
36	24	基本波実効値(W)	基本波実効値(W)	基本波実効値(W)	基本波実効値(W)	基本波実効値(V)	—	基本波実効値(W)
37	25	3次実効値(U)	3次実効値(U)	3次実効値(U)	3次実効値(V)	3次実効値(U)	3次実効値	3次実効値(U)
38	26	—	3次実効値(V)	—	—	—	—	3次実効値(V)
39	27	3次実効値(W)	3次実効値(W)	3次実効値(W)	3次実効値(W)	3次実効値(V)	—	3次実効値(W)
40	28	4次実効値(U)	4次実効値(U)	4次実効値(U)	4次実効値(V)	4次実効値(U)	4次実効値	4次実効値(U)
41	29	—	4次実効値(V)	—	—	—	—	4次実効値(V)
42	2A	4次実効値(W)	4次実効値(W)	4次実効値(W)	4次実効値(W)	4次実効値(V)	—	4次実効値(W)
43	2B	5次実効値(U)	5次実効値(U)	5次実効値(U)	5次実効値(V)	5次実効値(U)	5次実効値	5次実効値(U)
44	2C	—	5次実効値(V)	—	—	—	—	5次実効値(V)
45	2D	5次実効値(W)	5次実効値(W)	5次実効値(W)	5次実効値(W)	5次実効値(V)	—	5次実効値(W)
46	2E	7次実効値(U)	7次実効値(U)	7次実効値(U)	7次実効値(V)	7次実効値(U)	7次実効値	7次実効値(U)
47	2F	—	7次実効値(V)	—	—	—	—	7次実効値(V)
48	30	7次実効値(W)	7次実効値(W)	7次実効値(W)	7次実効値(W)	7次実効値(V)	—	7次実効値(W)
49	31	9次実効値(U)	9次実効値(U)	9次実効値(U)	9次実効値(V)	9次実効値(U)	9次実効値	9次実効値(U)
50	32	—	9次実効値(V)	—	—	—	—	9次実効値(V)
51	33	9次実効値(W)	9次実効値(W)	9次実効値(W)	9次実効値(W)	9次実効値(V)	—	9次実効値(W)
52	34	11次実効値(U)	11次実効値(U)	11次実効値(U)	11次実効値(V)	11次実効値(U)	11次実効値	11次実効値(U)
53	35	—	11次実効値(V)	—	—	—	—	11次実効値(V)
54	36	11次実効値(W)	11次実効値(W)	11次実効値(W)	11次実効値(W)	11次実効値(V)	—	11次実効値(W)
55	37	13次実効値(U)	13次実効値(U)	13次実効値(U)	13次実効値(V)	13次実効値(U)	13次実効値	13次実効値(U)
56	38	—	13次実効値(V)	—	—	—	—	13次実効値(V)
57	39	13次実効値(W)	13次実効値(W)	13次実効値(W)	13次実効値(W)	13次実効値(V)	—	13次実効値(W)
58	3A	15次実効値(U)	15次実効値(U)	15次実効値(U)	15次実効値(V)	15次実効値(U)	15次実効値	15次実効値(U)
59	3B	—	15次実効値(V)	—	—	—	—	15次実効値(V)
60	3C	15次実効値(W)	15次実効値(W)	15次実効値(W)	15次実効値(W)	15次実効値(V)	—	15次実効値(W)

<注意> 上記要素の ” — ” のデータを要求すると、エラー処理されエラーコードが送信されます。

4 ページ 3.4 エラー通信 及び 7 ページ 5.1.1 エラーコード参照

(3) 要素 (計測モード: 高調波電圧)

RWw n(L)		高調波電圧要素						
10進	16進	3φ3W(2VT・2CT)	3φ3W(2VT・3CT)	1φ3W(U-W-N)	1φ3W(V-W-N)	1φ3W(U-V-N)	1φ2W	3φ4W
1	01	歪率(UV)	歪率(UV)	歪率(UN)	歪率(VN)	歪率(UN)	歪率	歪率(UN)
2	02	歪率(VW)	歪率(VW)	歪率(WN)	歪率(WN)	歪率(VN)	—	歪率(VN)
3	03	—	—	—	—	—	—	歪率(WN)
4	04	5次換算含有率(UV)	5次換算含有率(UV)	5次換算含有率(UN)	5次換算含有率(VN)	5次換算含有率(UN)	5次換算含有率	5次換算含有率(UN)
5	05	5次換算含有率(VW)	5次換算含有率(VW)	5次換算含有率(WN)	5次換算含有率(WN)	5次換算含有率(VN)	—	5次換算含有率(VN)
6	06	—	—	—	—	—	—	5次換算含有率(WN)
7	07	3次含有率(UV)	3次含有率(UV)	3次含有率(UN)	3次含有率(VN)	3次含有率(UN)	3次含有率	3次含有率(UN)
8	08	3次含有率(VW)	3次含有率(VW)	3次含有率(WN)	3次含有率(WN)	3次含有率(VN)	—	3次含有率(VN)
9	09	—	—	—	—	—	—	3次含有率(WN)
10	0A	4次含有率(UV)	4次含有率(UV)	4次含有率(UN)	4次含有率(VN)	4次含有率(UN)	4次含有率	4次含有率(UN)
11	0B	4次含有率(VW)	4次含有率(VW)	4次含有率(WN)	4次含有率(WN)	4次含有率(VN)	—	4次含有率(VN)
12	0C	—	—	—	—	—	—	4次含有率(WN)
13	0D	5次含有率(UV)	5次含有率(UV)	5次含有率(UN)	5次含有率(VN)	5次含有率(UN)	5次含有率	5次含有率(UN)
14	0E	5次含有率(VW)	5次含有率(VW)	5次含有率(WN)	5次含有率(WN)	5次含有率(VN)	—	5次含有率(VN)
15	0F	—	—	—	—	—	—	5次含有率(WN)
16	10	7次含有率(UV)	7次含有率(UV)	7次含有率(UN)	7次含有率(VN)	7次含有率(UN)	7次含有率	7次含有率(UN)
17	11	7次含有率(VW)	7次含有率(VW)	7次含有率(WN)	7次含有率(WN)	7次含有率(VN)	—	7次含有率(VN)
18	12	—	—	—	—	—	—	7次含有率(WN)
19	13	9次含有率(UV)	9次含有率(UV)	9次含有率(UN)	9次含有率(VN)	9次含有率(UN)	9次含有率	9次含有率(UN)
20	14	9次含有率(VW)	9次含有率(VW)	9次含有率(WN)	9次含有率(WN)	9次含有率(VN)	—	9次含有率(VN)
21	15	—	—	—	—	—	—	9次含有率(WN)
22	16	11次含有率(UV)	11次含有率(UV)	11次含有率(UN)	11次含有率(VN)	11次含有率(UN)	11次含有率	11次含有率(UN)
23	17	11次含有率(VW)	11次含有率(VW)	11次含有率(WN)	11次含有率(WN)	11次含有率(VN)	—	11次含有率(VN)
24	18	—	—	—	—	—	—	11次含有率(WN)
25	19	13次含有率(UV)	13次含有率(UV)	13次含有率(UN)	13次含有率(VN)	13次含有率(UN)	13次含有率	13次含有率(UN)
26	1A	13次含有率(VW)	13次含有率(VW)	13次含有率(WN)	13次含有率(WN)	13次含有率(VN)	—	13次含有率(VN)
27	1B	—	—	—	—	—	—	13次含有率(WN)
28	1C	15次含有率(UV)	15次含有率(UV)	15次含有率(UN)	15次含有率(VN)	15次含有率(UN)	15次含有率	15次含有率(UN)
29	1D	15次含有率(VW)	15次含有率(VW)	15次含有率(WN)	15次含有率(WN)	15次含有率(VN)	—	15次含有率(VN)
30	1E	—	—	—	—	—	—	15次含有率(WN)
31	1F	5次換算実効値(UV)	5次換算実効値(UV)	5次換算実効値(UN)	5次換算実効値(VN)	5次換算実効値(UN)	5次換算実効値	5次換算実効値(UN)
32	20	5次換算実効値(VW)	5次換算実効値(VW)	5次換算実効値(WN)	5次換算実効値(WN)	5次換算実効値(VN)	—	5次換算実効値(VN)
33	21	—	—	—	—	—	—	5次換算実効値(WN)
34	22	基本波実効値(UV)	基本波実効値(UV)	基本波実効値(UN)	基本波実効値(VN)	基本波実効値(UN)	基本波実効値	基本波実効値(UN)
35	23	基本波実効値(VW)	基本波実効値(VW)	基本波実効値(WN)	基本波実効値(WN)	基本波実効値(VN)	—	基本波実効値(VN)
36	24	—	—	—	—	—	—	基本波実効値(WN)
37	25	3次実効値(UV)	3次実効値(UV)	3次実効値(UN)	3次実効値(VN)	3次実効値(UN)	3次実効値	3次実効値(UN)
38	26	3次実効値(VW)	3次実効値(VW)	3次実効値(WN)	3次実効値(WN)	3次実効値(VN)	—	3次実効値(VN)
39	27	—	—	—	—	—	—	3次実効値(WN)
40	28	4次実効値(UV)	4次実効値(UV)	4次実効値(UN)	4次実効値(VN)	4次実効値(UN)	4次実効値	4次実効値(UN)
41	29	4次実効値(VW)	4次実効値(VW)	4次実効値(WN)	4次実効値(WN)	4次実効値(VN)	—	4次実効値(VN)
42	2A	—	—	—	—	—	—	4次実効値(WN)
43	2B	5次実効値(UV)	5次実効値(UV)	5次実効値(UN)	5次実効値(VN)	5次実効値(UN)	5次実効値	5次実効値(UN)
44	2C	5次実効値(VW)	5次実効値(VW)	5次実効値(WN)	5次実効値(WN)	5次実効値(VN)	—	5次実効値(VN)
45	2D	—	—	—	—	—	—	5次実効値(WN)
46	2E	7次実効値(UV)	7次実効値(UV)	7次実効値(UN)	7次実効値(VN)	7次実効値(UN)	7次実効値	7次実効値(UN)
47	2F	7次実効値(VW)	7次実効値(VW)	7次実効値(WN)	7次実効値(WN)	7次実効値(VN)	—	7次実効値(VN)
48	30	—	—	—	—	—	—	7次実効値(WN)
49	31	9次実効値(UV)	9次実効値(UV)	9次実効値(UN)	9次実効値(VN)	9次実効値(UN)	9次実効値	9次実効値(UN)
50	32	9次実効値(VW)	9次実効値(VW)	9次実効値(WN)	9次実効値(WN)	9次実効値(VN)	—	9次実効値(VN)
51	33	—	—	—	—	—	—	9次実効値(WN)
52	34	11次実効値(UV)	11次実効値(UV)	11次実効値(UN)	11次実効値(VN)	11次実効値(UN)	11次実効値	11次実効値(UN)
53	35	11次実効値(VW)	11次実効値(VW)	11次実効値(WN)	11次実効値(WN)	11次実効値(VN)	—	11次実効値(VN)
54	36	—	—	—	—	—	—	11次実効値(WN)
55	37	13次実効値(UV)	13次実効値(UV)	13次実効値(UN)	13次実効値(VN)	13次実効値(UN)	13次実効値	13次実効値(UN)
56	38	13次実効値(VW)	13次実効値(VW)	13次実効値(WN)	13次実効値(WN)	13次実効値(VN)	—	13次実効値(VN)
57	39	—	—	—	—	—	—	13次実効値(WN)
58	3A	15次実効値(UV)	15次実効値(UV)	15次実効値(UN)	15次実効値(VN)	15次実効値(UN)	15次実効値	15次実効値(UN)
59	3B	15次実効値(VW)	15次実効値(VW)	15次実効値(WN)	15次実効値(WN)	15次実効値(VN)	—	15次実効値(VN)
60	3C	—	—	—	—	—	—	15次実効値(WN)

<注意> 上記要素の ” — ” のデータを要求すると、エラー処理されエラーコードが送信されます。

4 ページ 3.4 エラー通信 及び 7 ページ 5.1.1 エラーコード参照

(4) 要素 (設定値モニタ) (9)

RWw n(L)		項目
10 進	16 進	
1	01	相線
2	02	電圧測定レンジ
3	03	電流測定レンジ
4	04	電圧上限設定値 (相電圧) (7)
5	05	電圧下限設定値 (相電圧) (7)
6	06	電圧上限設定値 (線間電圧)
7	07	電圧下限設定値 (線間電圧)
8	08	需要電流上限設定値
9	09	需要電力上限設定値
10	0A	漏電電流上限設定値 (8)
11	0B	高調波電流歪率上限設定値
12	0C	高調波電流 5 次換算含有率 上限設定値
13	0D	高調波電流 n 次含有率警報要素
14	0E	高調波電流 n 次含有率 上限設定値
15	0F	高調波電圧歪率上限設定値
16	10	高調波電圧 5 次換算含有率 上限設定値
17	11	高調波電圧 n 次含有率警報要素
18	12	高調波電圧 n 次含有率 上限設定値
19	13	需要電流時限
20	14	需要電力時限
21	15	警報出力 1 要素 (接点出力) (8)
22	16	警報出力 2 要素 (接点出力) (8)

注(7) 3φ3W, 1φ2W仕様にてこの要素を要求した場合、エラーコードを送信します。
 注(8) オプション無し時にこの要素を要求した場合、エラーコードを送信します。
 注(9) 各要素の上・下限設定値がOFFの場合、データ 0 (0000000000H) を送信します。

(5) 要素 (設定値変更)

RWw n(H)		項目
10 進	16 進	
1	01	—
2	02	電圧測定レンジ
3	03	電流測定レンジ

(6) 要素 (設定値変更: 電圧レンジ) (10)

RWw n(L)		電圧レンジ (VT 比)	RWw n(L)		電圧レンジ (VT 比)	RWw n(L)		電圧レンジ (VT 比)
10 進	16 進		10 進	16 進		10 進	16 進	
1	01	150.0V (110.0V)	13	0D	3.00kV (2200/110V)	25	19	90.0kV (66k/110V)
2	02	150V (110V)	14	0E	4500V (3300/110V)	26	1A	105.0kV (77k/110V)
3	03	300.0V (220/110V)	15	0F	4.50kV (3300/110V)	27	1B	150.0kV (110k/110V)
4	04	300V (220/110V)	16	10	9000V (6600/110V)	28	1C	180.0kV (132k/110V)
5	05	500V (380/110V)	17	11	9.00kV (6600/110V)	29	1D	210.0kV (154k/110V)
6	06	600V (440/110V)	18	12	15.00kV (11k/110V)	30	1E	255.0kV (187k/110V)
7	07	600V (460/110V)	19	13	18.00kV (13.2k/110V)	31	1F	300.0kV (220k/110V)
8	08	600V (480/110V)	20	14	18.00kV (13.8k/110V)	32	20	375.0kV (275k/110V)
9	09	1200V (880/110V)	21	15	24.00kV (16.5k/110V)	33	21	500.0kV (380k/110V)
10	0A	1500V (1100/110V)	22	16	25.00kV (18.4k/110V)	34	22	750.0kV (550k/110V)
11	0B	2400V (1650/110V)	23	17	30.0kV (22k/110V)			
12	0C	3000V (2200/110V)	24	18	45.0kV (33k/110V)			

注(10) 電力レンジが 1000MW 以上となる組合せの設定変更を実施した場合、設定値変更されず設定変更前のデータを送信します。

(7) 要素（設定値変更：電流レンジ）⁽¹¹⁾

RWw n(L)		電流レンジ	RWw n(L)		電流レンジ	RWw n(L)		電流レンジ	RWw n(L)		電流レンジ
10進	16進		10進	16進		10進	16進		10進	16進	
1	01	5.00A	20	14	75.0A	39	27	900A	58	3A	5000A
2	02	6.00A	21	15	80.0A	40	28	1000A	59	3B	5.00kA
3	03	7.50A	22	16	100.0A	41	29	1.00kA	60	3C	6000A
4	04	8.00A	23	17	100A	42	2A	1200A	61	3D	6.00kA
5	05	10.00A	24	18	120.0A	43	2B	1.20kA	62	3E	7500A
6	06	10.0A	25	19	120A	44	2C	1500A	63	3F	7.50kA
7	07	12.00A	26	1A	150.0A	45	2D	1.50kA	64	40	8000A
8	08	12.0A	27	1B	150A	46	2E	1600A	65	41	8.00kA
9	09	15.00A	28	1C	200.0A	47	2F	1.60kA	66	42	9.00kA
10	0A	15.0A	29	1D	200A	48	30	1800A	67	43	10.00kA
11	0B	20.00A	30	1E	250.0A	49	31	1.80kA	68	44	10.0 kA
12	0C	20.0A	31	1F	250A	50	32	2000A	69	45	12.00kA
13	0D	25.00A	32	20	300.0A	51	33	2.00kA	70	46	12.0 kA
14	0E	25.0A	33	21	300A	52	34	2500A	71	47	15.00kA
15	0F	30.00A	34	22	400A	53	35	2.50kA	72	48	15.0 kA
16	10	30.0A	35	23	500A	54	36	3000A	73	49	20.00kA
17	11	40.0A	36	24	600A	55	37	3.00kA	74	4A	20.0 kA
18	12	50.0A	37	25	750A	56	38	4000A	75	4B	30.00kA
19	13	60.0A	38	26	800A	57	39	4.00kA	76	4C	30.0 kA

注⁽¹¹⁾ 電力レンジが1000MW以上となる組合せの設定変更を実施した場合、設定値変更されず設定変更前のデータを送信します。

(8) 要素（最大・最小リセット）⁽¹³⁾

要素（積算値リセット）⁽¹²⁾ ⁽¹³⁾

RWw n(L)		項目
10進	16進	
1	01	電圧
2	02	電流
3	03	需要電流
4	04	電力
5	05	需要電力
6	06	無効電力
7	07	力率
8	08	周波数
9	09	漏電電流
10	0A	皮相電力
11	0B	高調波電流
12	0C	高調波電圧
255	FF	全要素一括

注⁽¹²⁾ 積算値リセットは全要素一括のみ使用。

注⁽¹³⁾ 各要素のリセット後はデータ - 1 (FFFFFFFFFH) を送信します。

付表1 電圧計測データ及び倍率データ(単位はV)

電圧レンジ	通信データ	電圧レンジ	通信データ	電圧レンジ	通信データ
110.0V	1100×0.1	2.20kV	2200×1	66.0kV	6600×10
110V	1100×0.1	3300V	3300×1	77.0kV	770×100
220.0V	2200×0.1	3.30kV	3300×1	110.0kV	1100×100
220V	2200×0.1	6600V	6600×1	132.0kV	1320×100
380V	3800×0.1	6.60kV	6600×1	154.0kV	1540×100
440V	4400×0.1	11.00kV	1100×10	187.0kV	1870×100
460V	4600×0.1	13.20kV	1320×10	220.0kV	2200×100
480V	4800×0.1	13.80kV	1380×10	275.0kV	2750×100
880V	880×1	16.50kV	1650×10	380.0kV	3800×100
1100V	1100×1	18.40kV	1840×10	550.0kV	5500×100
1650V	1650×1	22.0kV	2200×10		
2200V	2200×1	33.0kV	3300×10		

〈注意〉 上記通信データは定格電圧入力時のデータとなります。(110V 又は 220V)

付表2 電流計測データ及び倍率データ(単位はA)

電流レンジ	通信データ	電流レンジ	通信データ	電流レンジ	通信データ
5.00A	5000×0.001	150A	1500×0.1	2.50kA	2500×1
6.00A	6000×0.001	200.0A	2000×0.1	3000A	3000×1
7.50A	7500×0.001	200A	2000×0.1	3.00kA	3000×1
8.00A	8000×0.001	250.0A	2500×0.1	4000A	4000×1
10.00A	1000×0.01	250A	2500×0.1	4.00kA	4000×1
10.0A	1000×0.01	300.0A	3000×0.1	5000A	5000×1
12.00A	1200×0.01	300A	3000×0.1	5.00kA	5000×1
12.0A	1200×0.01	400A	4000×0.1	6000A	6000×1
15.00A	1500×0.01	500A	5000×0.1	6.00kA	6000×1
15.0A	1500×0.01	600A	6000×0.1	7500A	7500×1
20.00A	2000×0.01	750A	7500×0.1	7.50kA	7500×1
20.0A	2000×0.01	800A	8000×0.1	8000A	8000×1
25.00A	2500×0.01	900A	9000×0.1	8.00kA	8000×1
25.0A	2500×0.01	1000A	1000×1	9.00kA	9000×1
30.00A	3000×0.01	1.00kA	1000×1	10.00kA	1000×10
30.0A	3000×0.01	1200A	1200×1	10.0kA	1000×10
40.0A	4000×0.01	1.20kA	1200×1	12.00kA	1200×10
50.0A	5000×0.01	1500A	1500×1	12.0kA	1200×10
60.0A	6000×0.01	1.50kA	1500×1	15.00kA	1500×10
75.0A	7500×0.01	1600A	1600×1	15.0kA	1500×10
80.0A	8000×0.01	1.60kA	1600×1	20.00kA	2000×10
100.0A	1000×0.1	1800A	1800×1	20.0kA	2000×10
100 A	1000×0.1	1.80kA	1800×1	30.00kA	3000×10
120.0A	1200×0.1	2000A	2000×1	30.0kA	3000×10
120 A	1200×0.1	2.00kA	2000×1		
150.0A	1500×0.1	2500A	2500×1		

〈注意〉 上記通信データは定格電流入力時のデータとなります。(5A 又は 1A)

付表 4 1φ3W：電力、無効電力データ・倍率データ（単位はkW, kvar）及び電力量倍率データ

レンジ	110V レンジ	電力量 [kW]	倍率データ
5A	1000×0.001		
6A	1200×0.001		
7.5A	1500×0.001		
8A	1600×0.001		
10A	2000×0.001		
12A	2400×0.001		
15A	3000×0.001		
20A	4000×0.001		
25A	5000×0.001		
30A	6000×0.001		
40A	8000×0.001		×0.01
50A	1000×0.01		
60A	1200×0.01		
75A	1500×0.01		
80A	1600×0.01		
100A	2000×0.01		
120A	2400×0.01		
150A	3000×0.01		
200A	4000×0.01		
250A	5000×0.01		
300A	6000×0.01		
400A	8000×0.01		×0.1
500A	1000×0.1		
600A	1200×0.1		
750A	1500×0.1		
800A	1600×0.1		
900A	1800×0.1		
1000A	2000×0.1		
1200A	2400×0.1		
1500A	3000×0.1		
1600A	3200×0.1		
1800A	3600×0.1		
2000A	4000×0.1		
2500A	5000×0.1		
3000A	6000×0.1		
4000A	8000×0.1		×1
5000A	1000×1		
6000A	1200×1		
7500A	1500×1		
8000A	1600×1		
9000A	1800×1		
10000A	2000×1		
12000A	2400×1		
15000A	3000×1		
20000A	4000×1		
30000A	6000×1		×10

〈注意〉上記通信データは定格入力時のデータとなります。（例：110V, 5A仕様時 1kW）



本 社 住 所：〒121-8639 東京都足立区一ツ家一丁目11番13号
(東京営業所) 電 話：03(3885)2411(代表)
FAX：03(3858)3966

京都営業所 住 所：〒610-0114 京都府城陽市市辺西川原1-19
電 話：0774(55)1391(代表)
FAX：0774(54)1353

作成 2018/05/31